

エコパッキン長尺 / エコパッキン気密 / エコパッキン

調整板について

土台とエコパッキン・エコパッキン長尺の間に隙間が生じる場合は調整板の使用を推奨します。

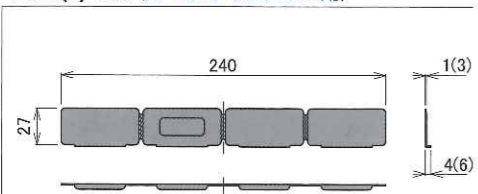
※エコパッキン気密には調整板が不要です。

エコパッキン長尺

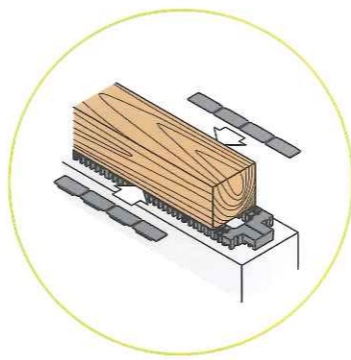
- エコパッキン長尺用の調整板は両側から挿入するタイプです。
- 調整板は必ず土台とエコパッキン長尺の間に挿入して下さい。
- 隙間の大きいところは2枚あわせて使用して下さい。
- 調整板は4分割にできるようになっていますので隙間の状況にあわせてカットして下さい。

※ () 内は 3mm用の値

EPLS1(3)-240 (EP-102L/120L/150L 用)



規格	製品仕様
品番	EPLS1(3)-240
材質	再生PP複合樹脂
製品重量	約 8(22)g
入数	200 枚 / 箱
参考価格	¥ 90(120) / 枚



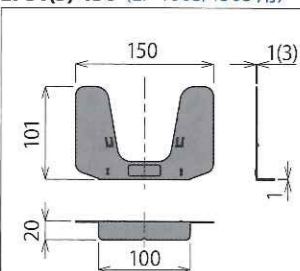
エコパッキン

- エコパッキン用の調整板は片側から挿入するタイプです。
- 調整板は 1mm と 3mm の厚みがあります。
- 隙間の大きいところは 2 枚あわせて使用して下さい。
(2枚あわせて使用する際はあらかじめ重ねてから挿入して下さい。)

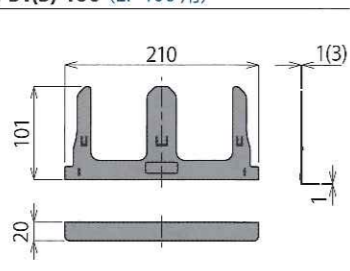
※ () 内は 3mm用の値

規格	製品仕様		
品番	EPS1(3)-150	EPS1(3)-100	EPS1(3)-120
材質	再生PP複合樹脂		
製品重量	約 13(33)g	約 16(35)g	約 19(44)g
入数	200 枚 / 箱		
参考価格	¥ 105(120) / 枚		

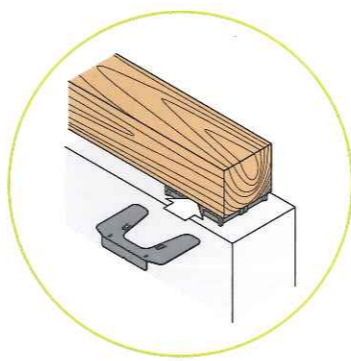
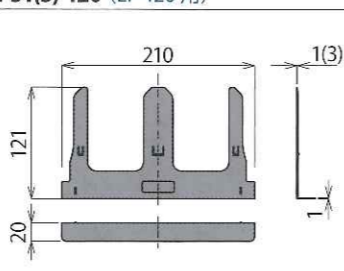
EPS1(3)-150 (EP-100S/150S 用)



EPS1(3)-100 (EP-100 用)

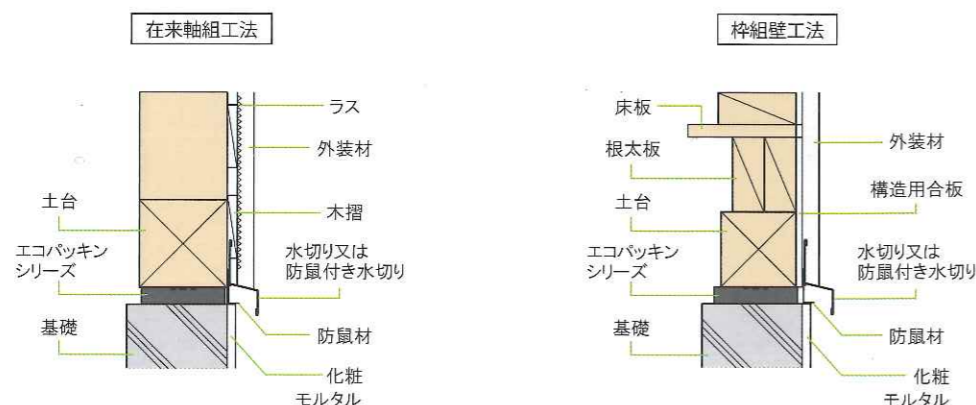


EPS1(3)-120 (EP-120 用)



標準納まり図

※防鼠材はエコパッキン長尺、エコパッキン気密には使用しないで下さい。また、防鼠付き水切りとの併用は不可です。



設計上の注意

- エコパッキンシリーズは必ず基礎と土台の間に入れて下さい。
- エコパッキンシリーズは鉄骨造には使用しないで下さい。
- 基礎は住宅金融支援機構監修の共通仕様書に定められた基礎と同等以上の布基礎又はベタ基礎(立ち上がり有するもの)として下さい。
- アンカーボルトは住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に基づき埋設して下さい。
- 防蟻・防蟻処置は、建築基準法や住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に基づき行って下さい。
- 換気孔としての基礎立ち上がり部の切り欠け開口部は不要です。但し、内部点検用の通路として切り欠けは必要です。
- エコパッキンシリーズの土台に対する使い分けは[別表1]を参考にして下さい。
- 施工後の開口面積は、住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に規定された300cm²/4mを確保するように敷設して下さい。([別表2]を参照)
- 本製品は平屋及び2階建ての住宅を想定して作成しています。
3階建ての住宅に使用する場合は構造計算を行い、軸力等を考慮して安全性を確認した上で使用して下さい。

[別表1]

	土台寸法	エコパッキン	エコパッキン長尺	エコパッキン気密
在来軸組工法	3.5寸角	EP-100S/150S/100	EP-102L/120L	EP-K102N/K120N
	4寸角	EP-100S/150S/120	EP-120L	EP-K120N
	4.5寸角	-	EP-150L	-
柱組壁工法	404材	EP-100S/150S/100	EP-102L/120L	EP-K102N
	406材	-	EP-150L	-

[別表2]

エコパッキン	使用限度枚数(目安)	使用限度枚数時の開口面積
EP-100S	4mで14枚以内	約306cm ²
EP-150S	4mで11枚以内	約310cm ²
EP-100	4mで8枚以内	約306cm ²
EP-120	〃	〃
EP-102L	隙間なく施工するだけで300cm ² /4mを確保できます。	
EP-120L		

施工上の注意

●エコパッキン・エコパッキン長尺

- エコパッキンシリーズは突起のある面、エコパッキン長尺は土台面と記載されている面を上にして設置して下さい。
- 製品表面にひび割れ等があるものは使用しないで下さい。
- エコパッキン・エコパッキン長尺をアンカーボルト部以外の箇所に敷設する場合はズレ防止の為、コンクリート釘(頭径φ6以下・線径φ4以下・長さ38程度)を土台もしくは基礎天端に使用する事が出来ます。(釘頭がエコパッキン・エコパッキン長尺の表面からなるべく突出しないようにし、必要以上の衝撃を加えないように注意して下さい。)
- 敷設の際、アンカーボルトが土台の芯から外れて打設されてる場合には、長孔を利用して適切な位置になるように調整して下さい。
- エコパッキン・エコパッキン長尺と土台との間に隙間が生じる場合は、別売りの専用調整板を使用して下さい。

●エコパッキン気密

- エコパッキン気密の表裏2本ずつ貼られている気密テープは剥がさずに施工して下さい。
- エコパッキン気密の施工の際は「土台側」の表示がある面を上にして設置して下さい。
- エコパッキン気密を施工する箇所は、気密性を確保する為に基礎天端は平滑になるように仕上げして下さい。
- エコパッキン気密の使用箇所には防鼠材の施工は不要です。
- エコパッキン気密に対して打撃等の不要な衝撃はあたえないで下さい。
- エコパッキン気密を充填断熱工法の床下換気が必要な住宅で使用する場合、玄関・勝手口廻り、又は浴室廻りに施工して頂き、居室床下には施工しないで下さい。また外張断熱工法等で基礎断熱を行う住宅に使用する場合は外周基礎全体に使用して頂き、内部の間仕切り基礎には床下全域の換気を確保する為、エコパッキン又はエコパッキン長尺を使用して下さい。